

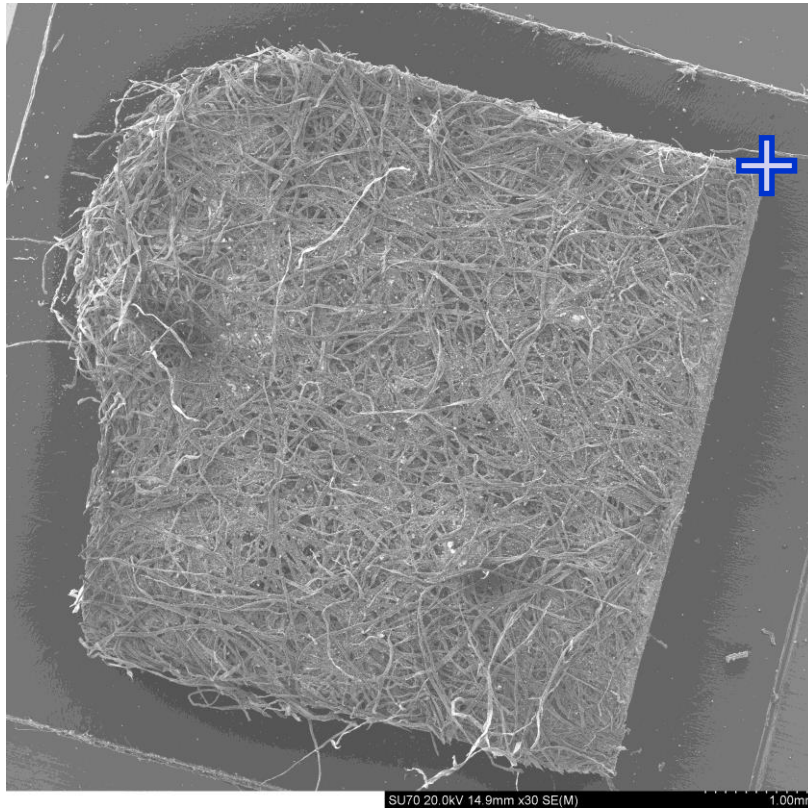
表1 24核種比較

領域No.	O	Na	Mg	Al	Si	S	Cl	Ag	Cd	U	Sn	Sb	Ca	Te	Cs	Ba	Ti	Cr	Fe	Ni	Zn	Pb	Zr	Mo	Total	採取
1	25.39	0.77	0.37	5.46	6.08	0.46	0.64	0.10	0.00	0.04	0.18	0.00	2.25	0.25	10.61	0.85	2.42	0.09	43.35	0.14	0.32	0.12	0.11	0.00	100.0	△

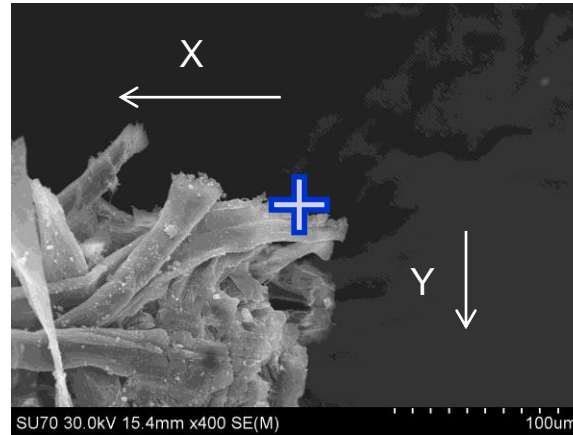
1SGTS2201から採取した3番目の試料1SGTS2201-3上に、Csの濃縮箇所が見られました。Csの濃度が高く、今までに見られたSi-Cs-O(Si>>Cs)と異なる特徴を有しています。

本年度選定する5つのTEM観察領域の一つとして、上記の領域1を選定させて頂きたくお願いいたします。

採取が非常に困難な位置にあり、また本試料片上にはほかに特徴を有する領域は見つからないため、12/22よりFIBにて周囲の伐採を開始します。週明けには採取の可能性が見えてくるものと思います。なお、1SGTS2201探索は他の試料片で継続しております。



試料サイズ
約5mm(H) × 5mm(W)



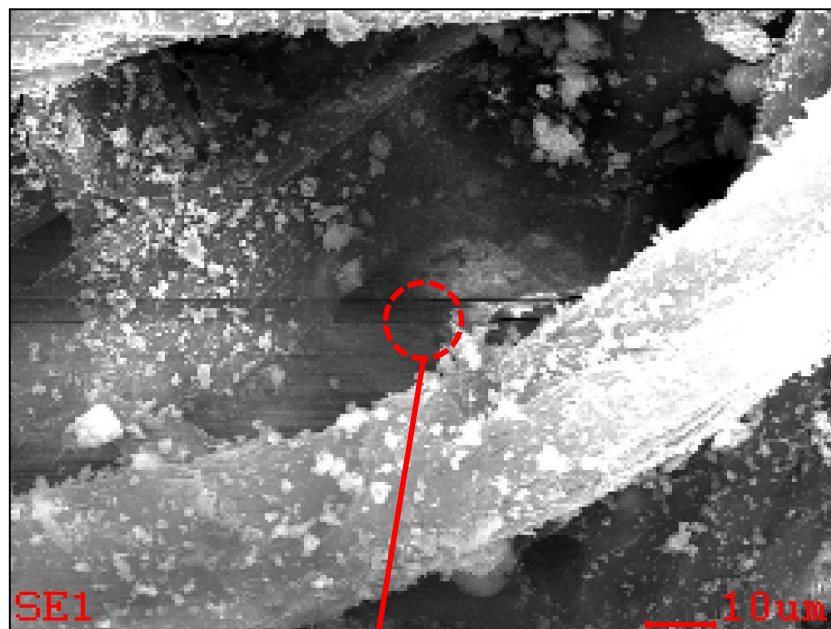
右上

表2 座標一覧

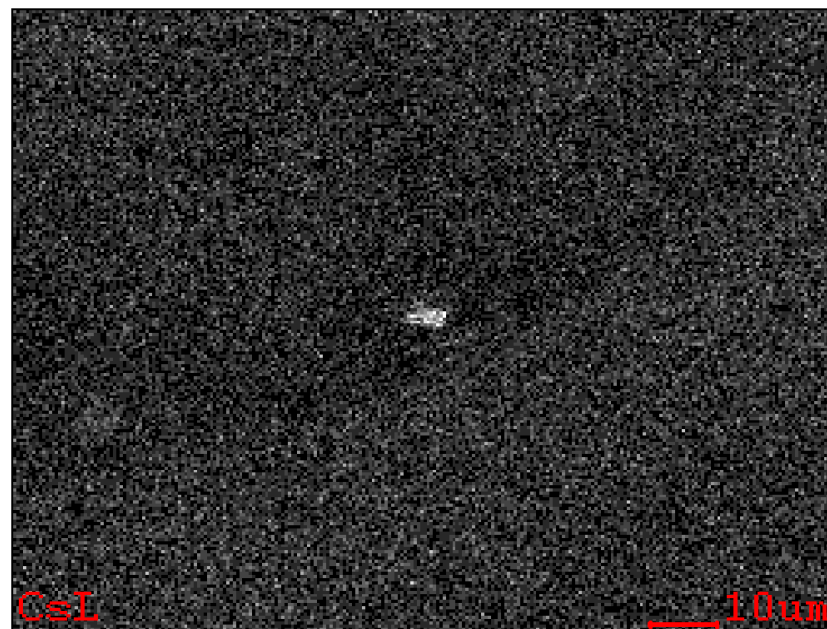
単位: mm

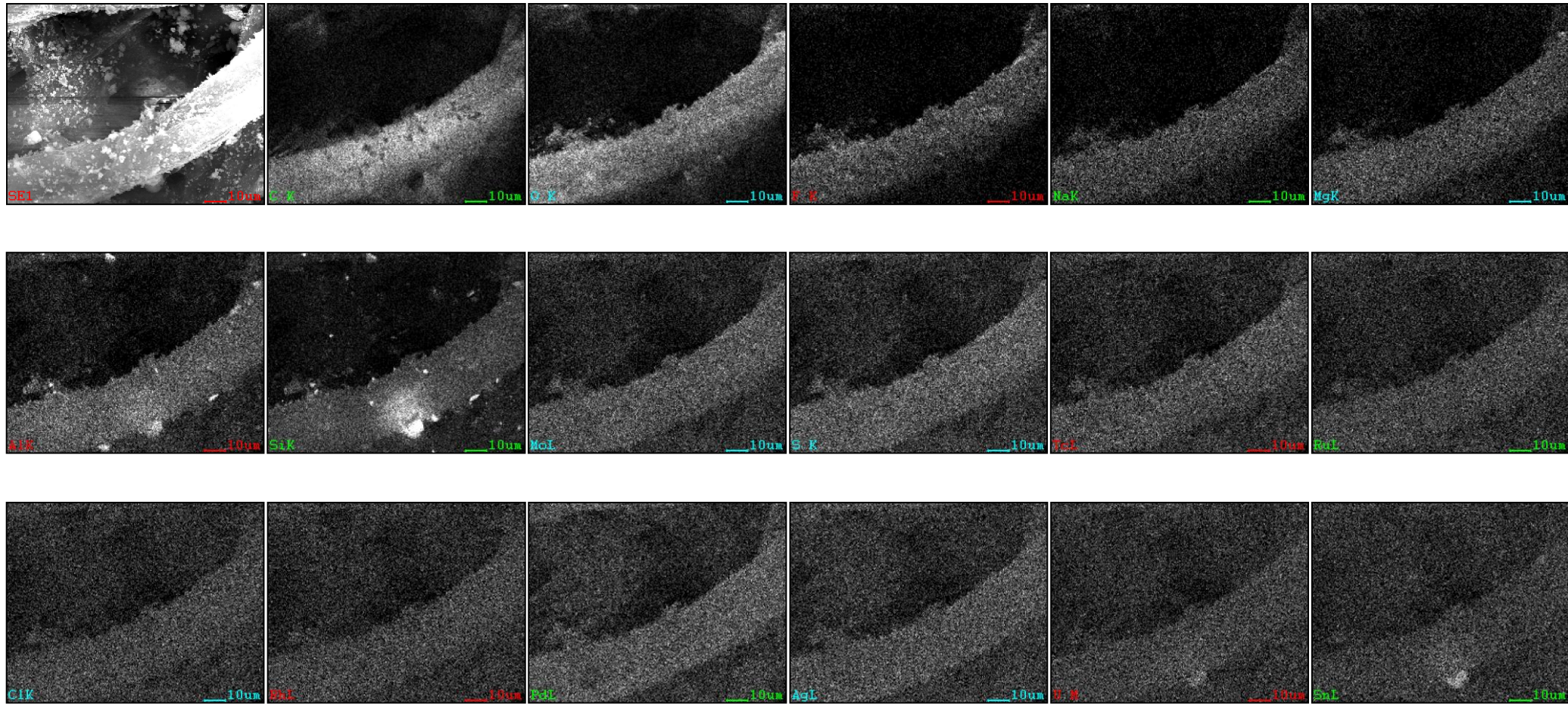
領域No.	X	Y
1	4.877	1.206

※試料右上を基準



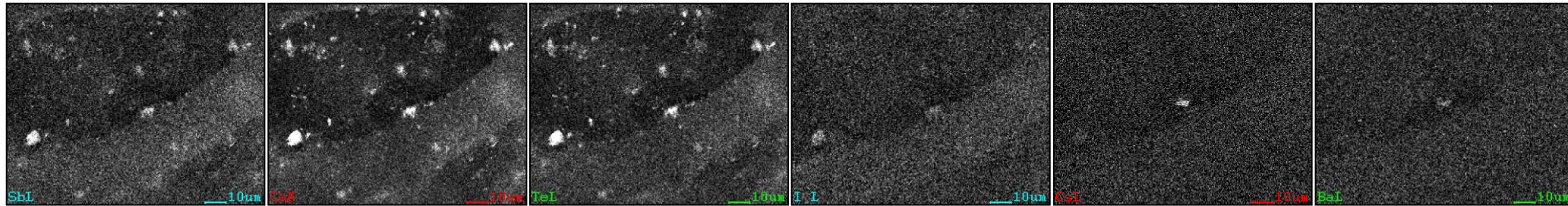
領域No.1

領域No.1
(採取:困難)

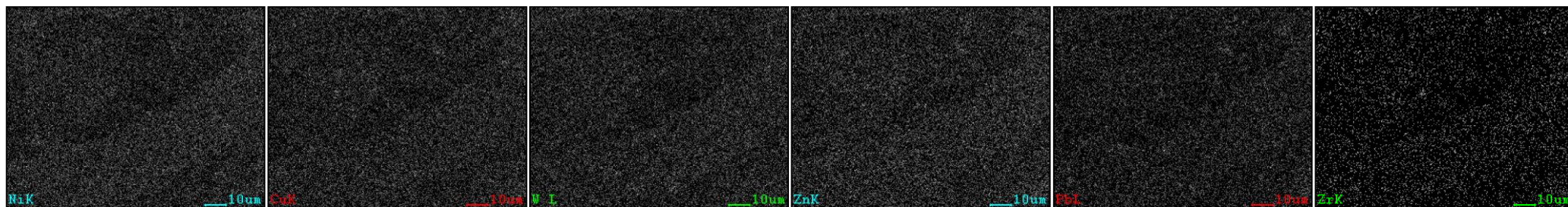
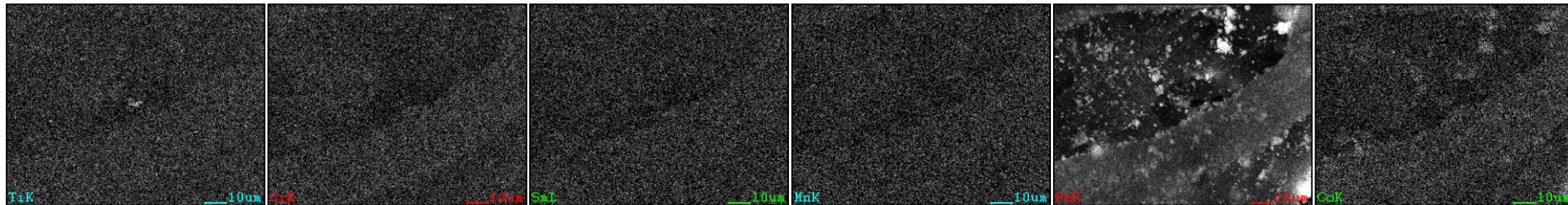


元素マップ
領域No.1

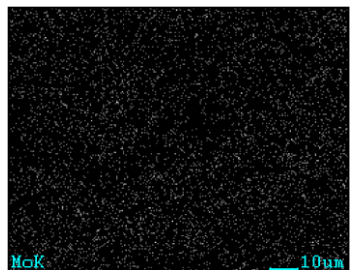
BaL, TiKはCsの影響



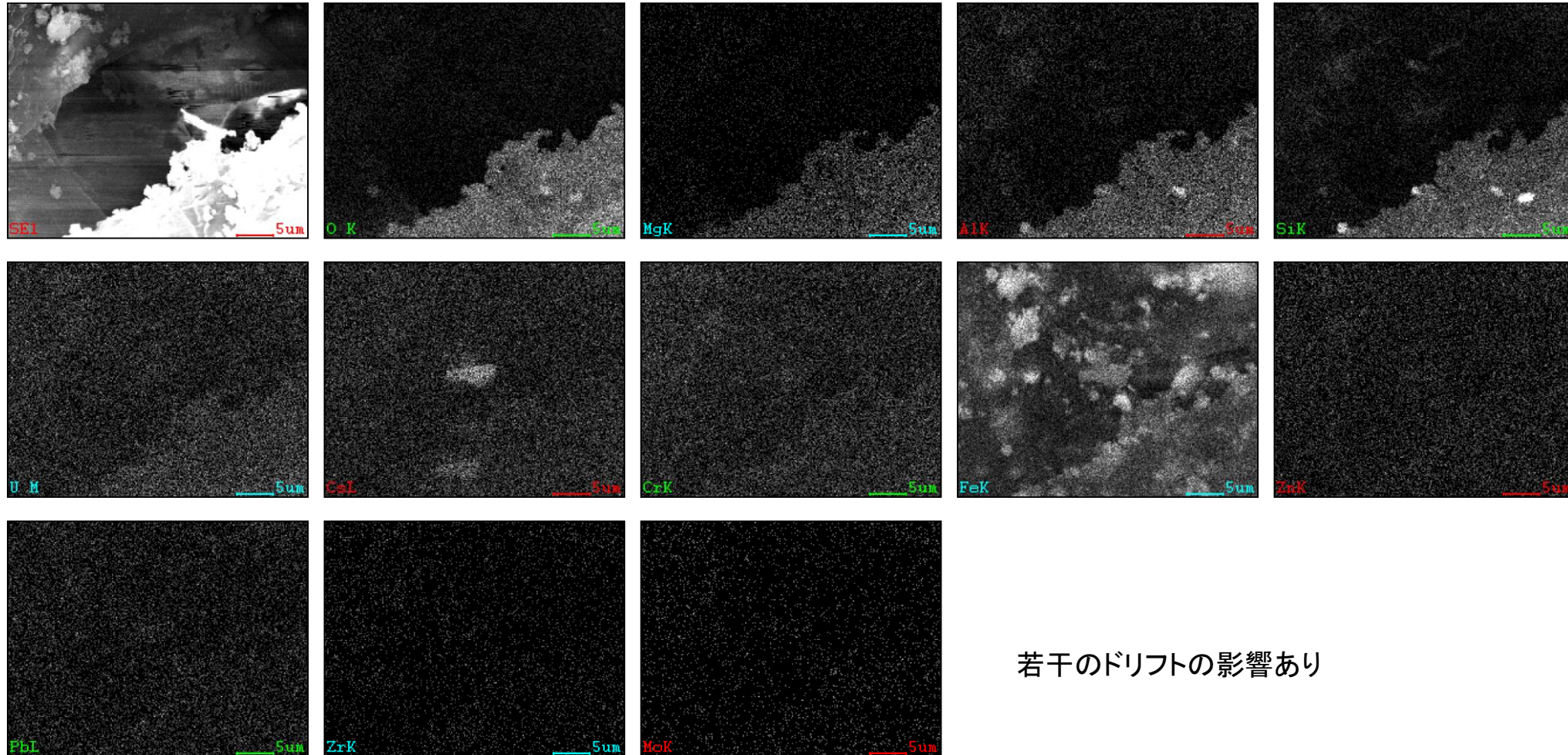
TeLの強いピークにより、CsL(BaL、TiK)が光るはず。そうでない部分はTeまたはCaの部分は、Caの可能性はある。



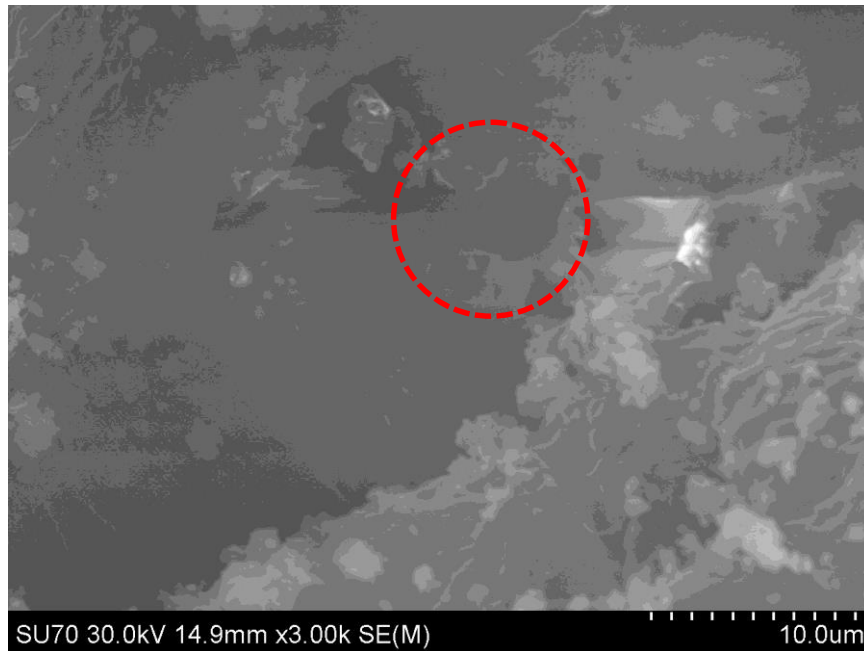
元素マップ
領域No.1



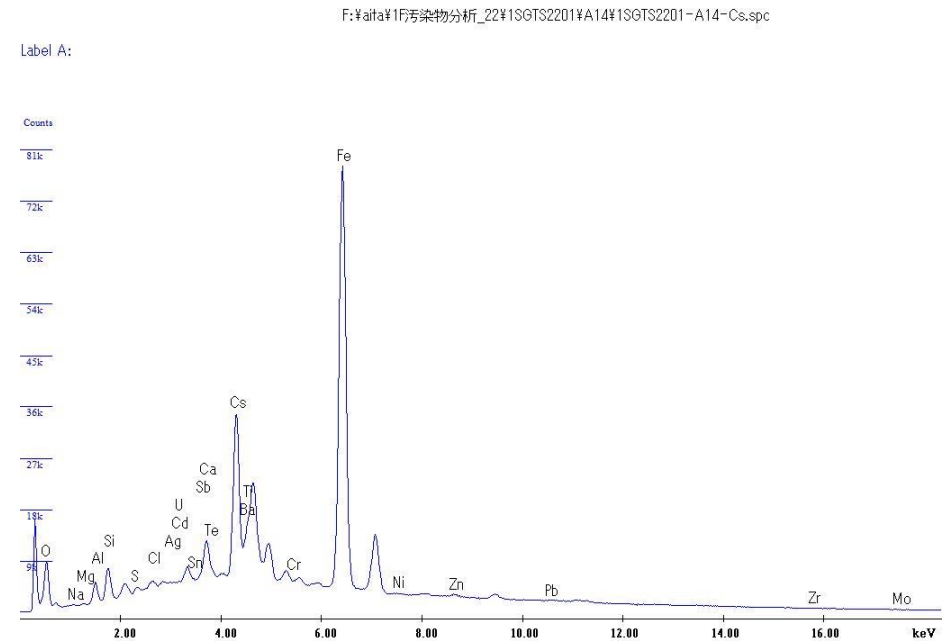
元素マップ
領域No.1



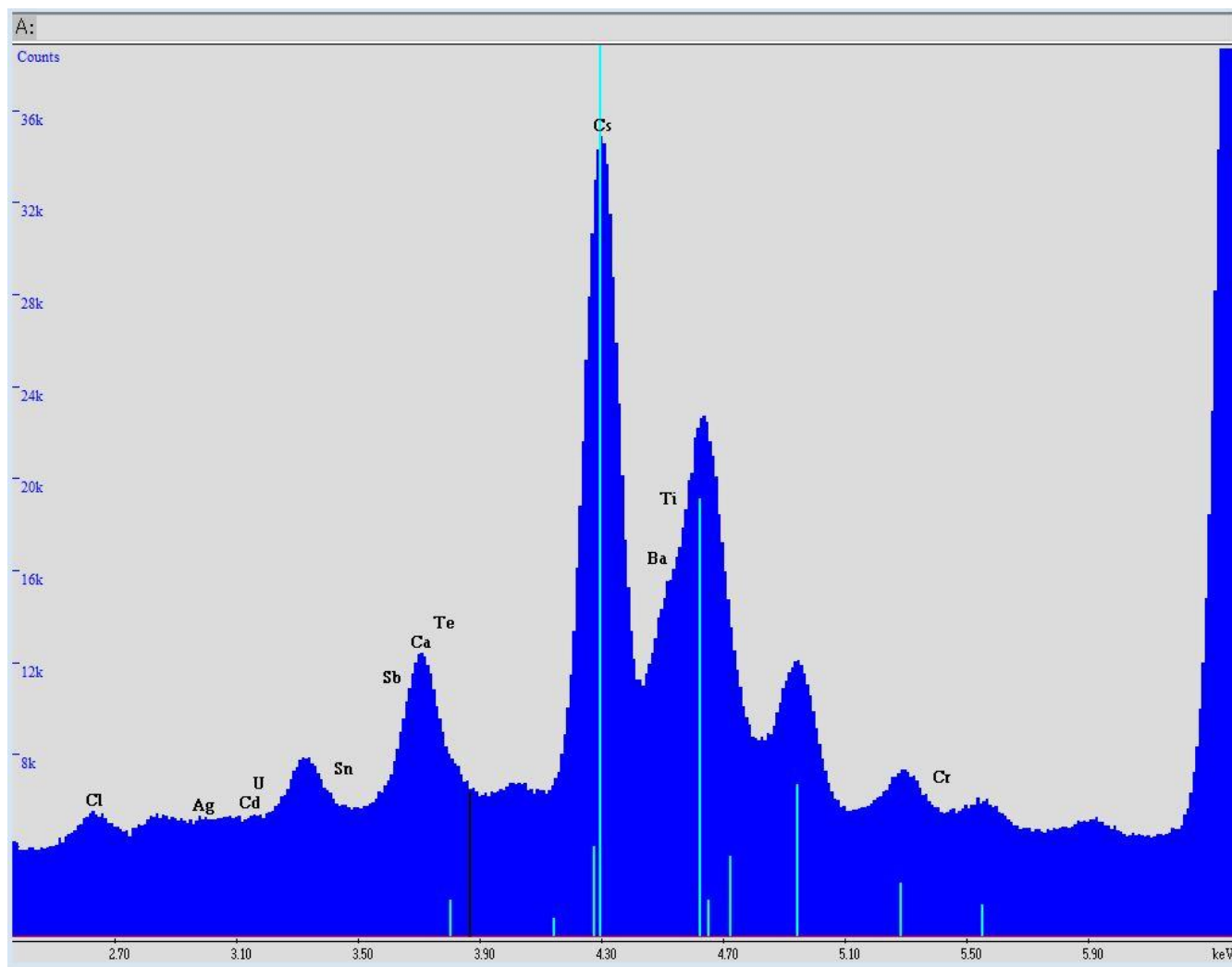
元素マップ
領域No.1



領域No.1



スペクトル



Cs詳細スペクトル